RolaTube ローラケージ マスト

（10m・黒）取扱説明書

HYTEC INTER Co., Ltd.

第 1 版

文書管理番号：TEC-21-MA0028-01

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、弊社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、弊社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

改版履歴

第 1 版	2021 年 01 月 06 日	新規作成

ご使用上の注意事項

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 目に見える損傷がある場合は、マストを使用しないでください。
- 配置場所が、感電の危険を表すケーブルや機器がないことを確認します。
- 風速27m/sを超える環境の中では、展開しないでください。
- マストの最大トップ荷重の負荷を超えて使用しないでください。
- 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

本製品に油分、薬品、水分等が付着した場合、格納する前にこれらを乾いた布でふき取るようお願いします。
このような汚れを放置して格納した場合、塗装が剥がれる、表面が痛むなどの恐れがあります。

目次

1. 製品概要 4

2. 梱包物一覧表 4

3. 製品仕様 5

4. 展開手順 6

5. 撤収要領 13

6. 故障かなと思ったら 13

1. 製品概要

本製品は、すばやく簡単に展開及び撤収できるコンパクトな 10m の Rolacage マストシステムであり、ブレーキ機能を内蔵した頑丈なアルミニウム構造により、10m の Rolacage マストシステムを任意の高さに簡単に展開できます。

2. 梱包物一覧表

ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

番号	名　称	数 量
①	10m チューブマスト・ケージシステム	1 個
②	トップキャップ	1 個
③	トップキャップガイロープ（赤タブ）	3 本
④	スロットロッカーカフ	3 個
⑤	スロットロッカーカフガイロープ	3 本
⑥	スチールペグ	10 本
⑦	ソフトペグ	6 本
⑧	収納袋	1 袋

3. 製品仕様

3.1 性能諸元

項番	項　目	諸　元
1	建中時の高さ	10m
2	最大トップ荷重	12kg
3	重量（本体のみ）	18.87kg
4	収納袋寸法	W420mm×H275mm×D285mm
5	最大展開時風速	27m/s
6	重量（構成品含む）	25.03kg
7	適合規格	MIL-STD-810G
8	推奨建柱人数	5 人

4. 展開手順

事故や破損を防止するため、本製品の建柱及び撤収は 5 人程度で行うことを推奨いたします。

マストの位置に 2 人、各杭に 1 人を配置する。

4.1 建柱場所の選定

1) 直径 9m～11m 程度の平坦な場所を選定します。

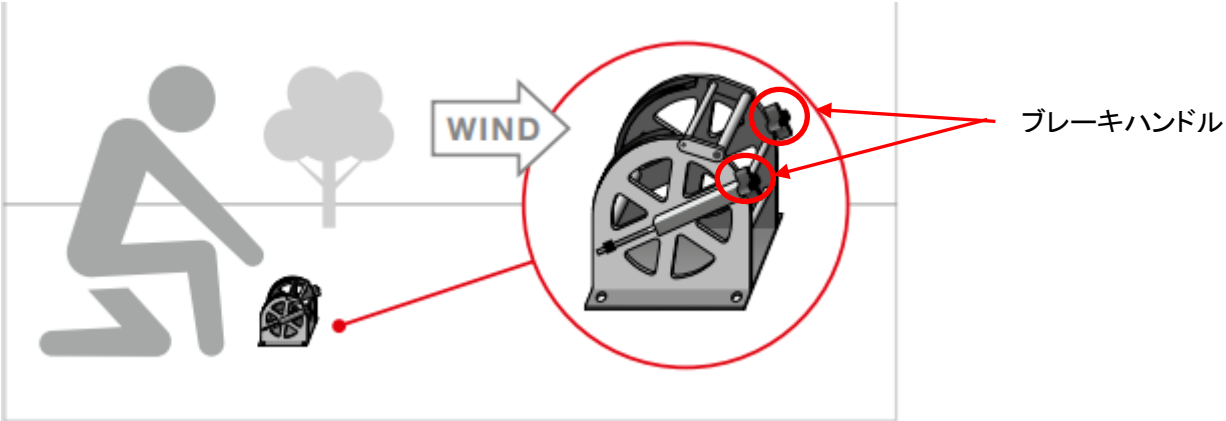
2) 収納袋を開放し本体と付属品の数量が揃っていることを確認します。

※ 本体と付属品の詳細は 2 章「梱包物一覧」をご参照願います。

4.2 ローラケージの設置

1) ブレーキハンドルを風下に向けてマスト展開する場所に配置します。

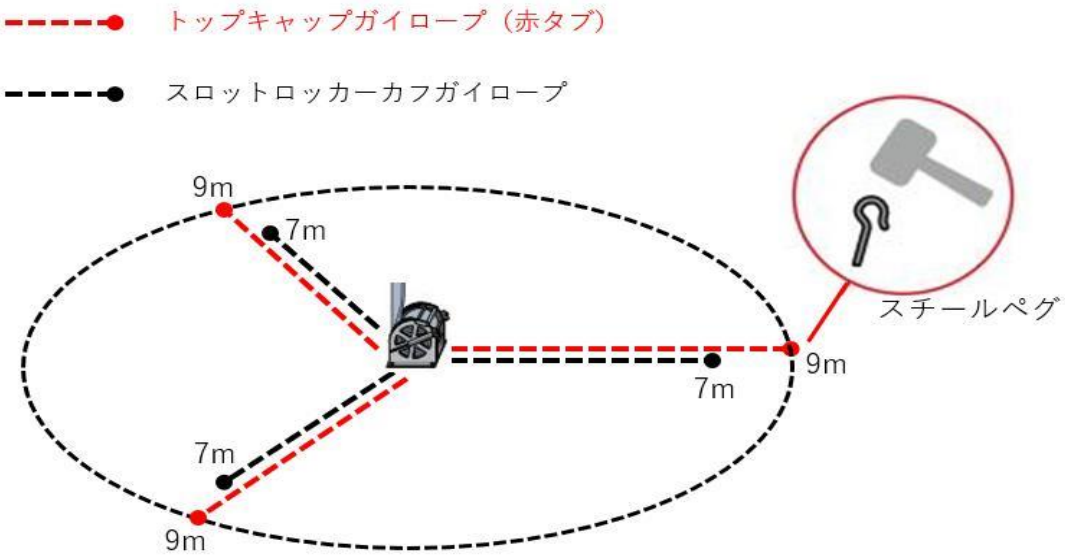
2) トップキャップ、スロットロッカーカフ（全開）、ペイロードを RolaCage の手の届くところに配置します。



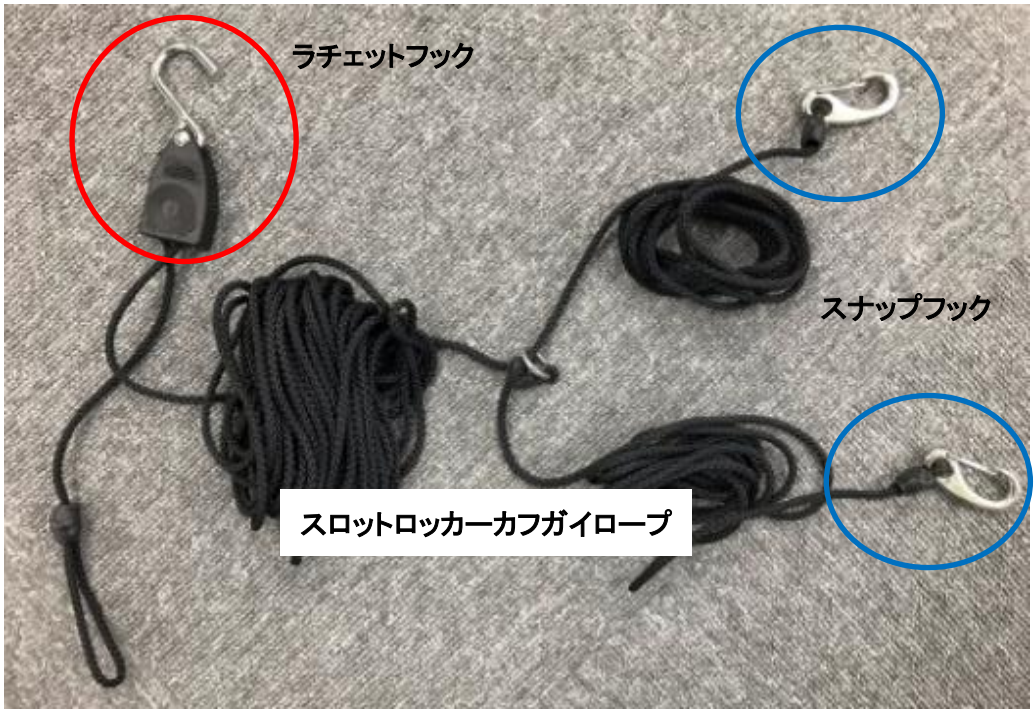
4.3 展開準備

1) RolaCage を建柱場所中央に配置し、ソフトペグで固定します。
2) 1 人目が両方のブレーキハンドルを反時計回りに同時に回転させて、Rolacage のブレーキを解除します。ストラップを使ってマストをローラケージから 1m まで引き出します。
3) 2 人目がトップキャップをマストに取り付け、トップキャップのピンで固定します。

4) 3,4,5 人目が図のように中央から各 120°、7m～9m の位置にスチールペグ及びガイロープを設置します。



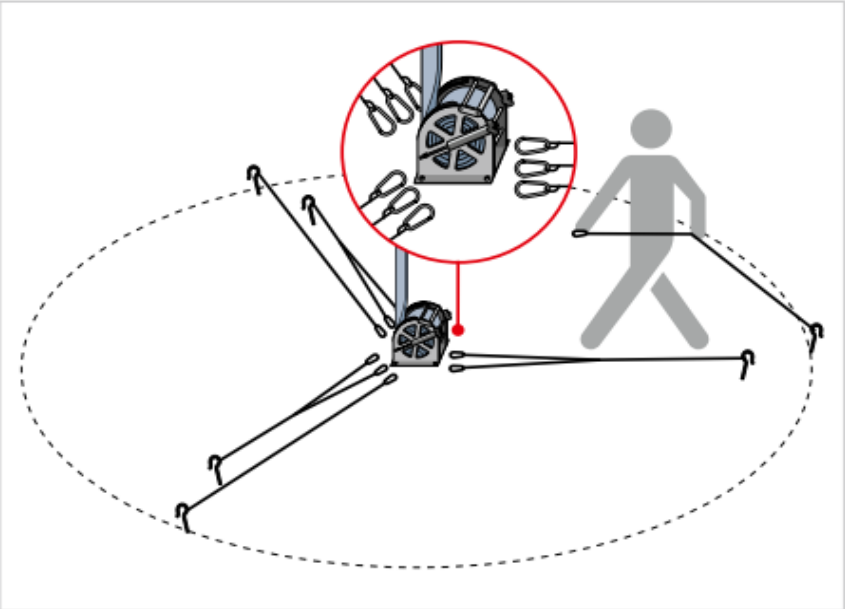
＊10m マスト　トップキャップガイロープ（赤タブ）9m、スロットロッカーカフガイロープ 7m



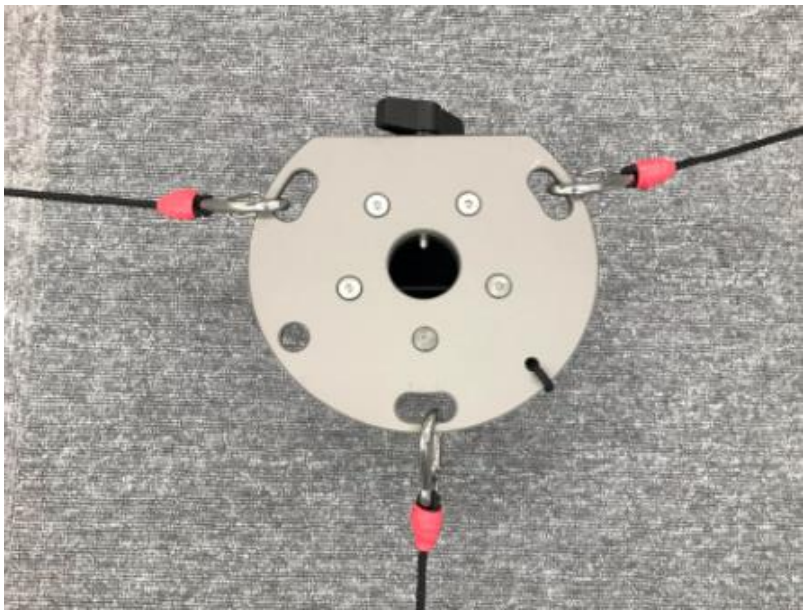
5） 3,4,5 人目がトップキャップガイロープ先端のスナップフックを RolaCage の手の届く範囲に置き、ロープの後端のラチェットフックを外側のペグに接続し、ガイロープの全長がラチェットから展開されていることを確認してください。

6） スロットロッカーカフガイロープ先端のスナップフックを RolaCage の手の届く範囲に置き、ロープの後端のラチェットフックを内側のペグに接続し、スロットロッカーカフガイロープがラチェットから展開されていることを確認してください。

7） 外側のペグに戻り、展開の準備ができている人はロープを保持します。

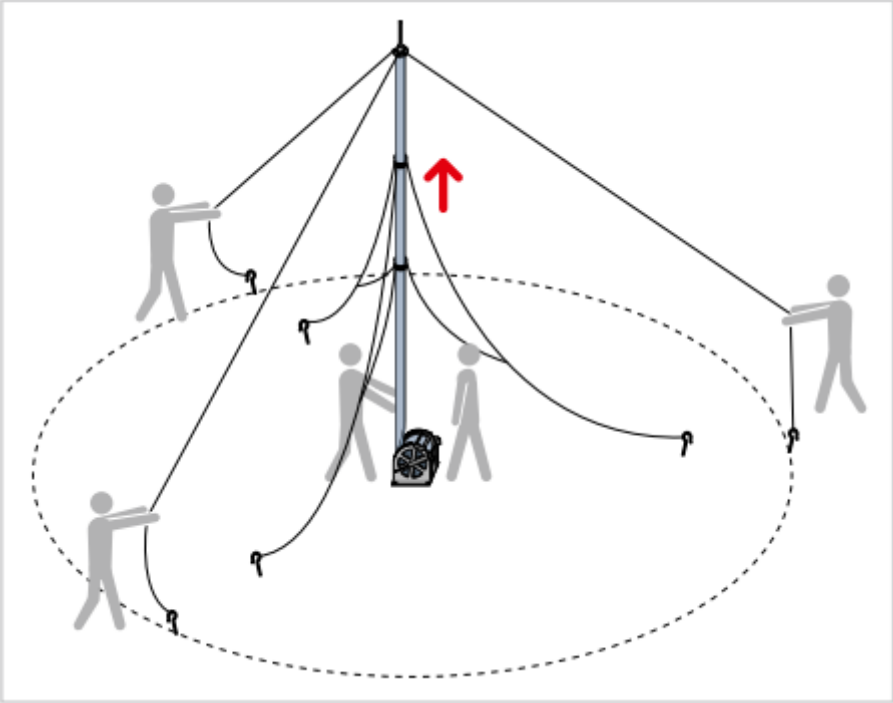


8） 2 人目がトップキャップに配置されトップキャップガイロープ（赤タブ）のスナップフック装着します。



9)　1 人目が RolaCage 本体からゆっくりとマストを引きあげていく、この際 3,4,5 人目はマストをでだけ垂直に保つために、トップキャップのガイロープをゆっくりと出しながら均等なテンションを維持する。

もしマストが垂直から外れ始めたら、すぐに展開を止め、3,4,5 人目にマストを垂直に戻すためのテンションの調整方法を指示しなければならない。

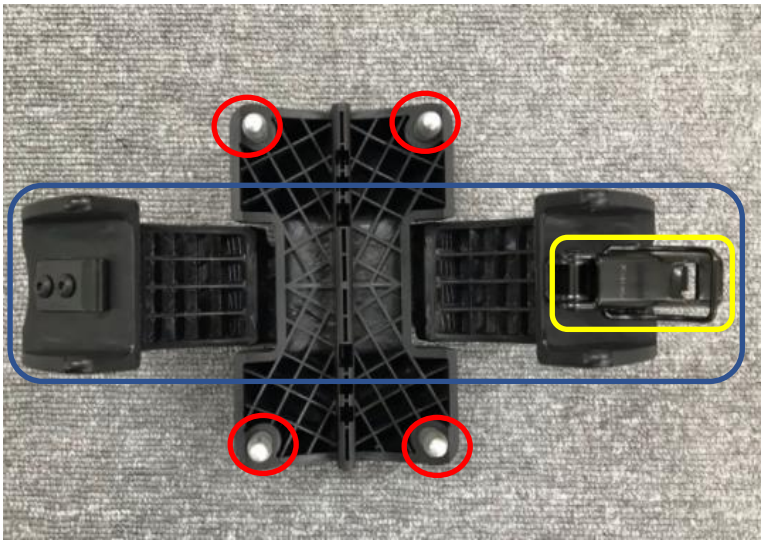


10)　1 人目が一段目のスロットロッカーカフが胸の高さになったら展開を止め、マストを支える。

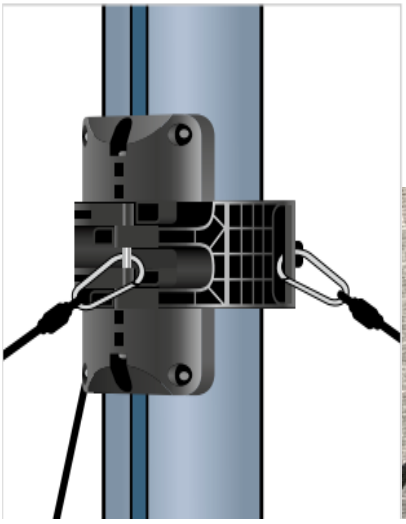
2 人目は1人目が必要とする場合は、RolaCage 本体のブレーキハンドルを時計回りに回転させ、ブレーキが両側で均等になっていることを確認してブレーキをかけます。

※　ブレーキを締めすぎないようにしてください。

2 人目が最初のスロットロッカーカフをマストに開けられた 4 ヶ所の穴にピン（赤枠）を合わせて挿入し、ヒンジ付きアーム（青枠）を閉じてオーバーセンターラッチ（黄枠）で固定します。



次にスロットロッカーカフガイロープの片方のスナップフックを先ほど装着した、カフのヒンジ部分に 1 本、残り 2 本はアームの側面の穴にそれぞれ装着する。

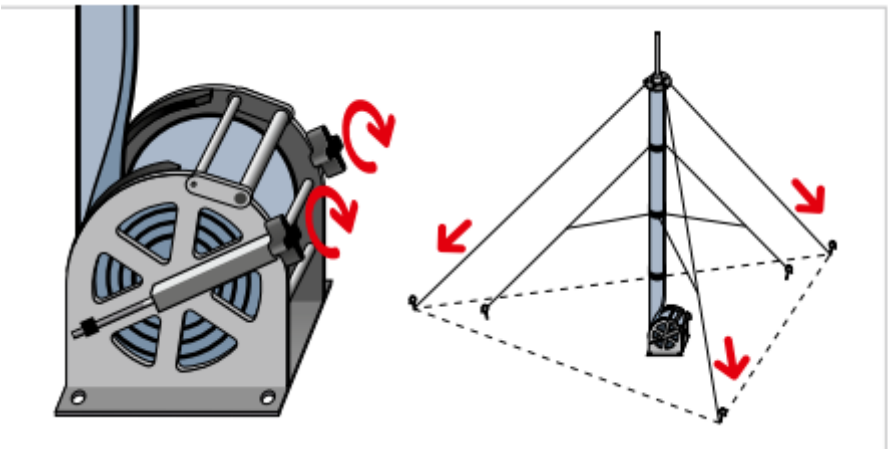


11） 1 人目がスロットロッカーカフの二段目の位置までマスト引き上げ展開を続けます。
2 人目は一段目カフの取付要領で二段目スロットロッカーカフを取り付け、最後のガイロープフックを取り付ける。10m マストには三段目のスロットロッカーカフがありますが、そこにはガイロープは取り付けられていません。

12) 1 人目はマストがこれ以上展開出来なくなるまでマストを上げ続け、3,4,5 人目はトップキャップのガイロープを使ってマストを支え続けます。

2 人目が RolaCage 本体のブレーキハンドルを時計回りに回してブレーキをかける。

3,4,5 人目はマストが垂直になるように、必要に応じて 2 人目の助けを借りながら、ラチェットを使ってすべてのガイロープを 6 本のペグに固定します。



5. 撤収要領

撤収は、展開の逆の手順です。3,4,5 人目がガイロープにテンションをかけている間に、1 人目はマストをゆっくりとスムーズに収納していきます。マストが地面に落下したり、ペイロードやマストシステムにダメージを与えたりしないようにしてください。

6. 故障かなと思ったら

6.1 機器故障の可能性がある場合は、修理ご依頼フォーム送信前に、弊社カスタマサポートへご連絡ください。

1) カスタマサポートよるお客様環境における故障切り分け方法をご案内します。
2) 切り分けの結果、カスタマサポートより故障の可能性が高いと判断された場合は以下の修理ご依頼フォームにご入力お願いいたします。
   https://hytec.co.jp/support/repair.html
3) お客様のメールアドレス宛に“修理ご依頼確認メール”が送られますので、そちらをプリントアウトして故障製品と共にご返送ください。

機器到着後に当社にて最終的な故障切り分けを行います。

6.2 当社は、該当製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理または新品もしくは同等品と交換致します。

ただし、保証期間内であっても以下の場合は有償修理または修理対象外とさせて頂きます。

1) 自然災害、公害、異常電圧、当社の期に帰すことができない損傷、故障
2) 取扱説明書に記載されている使用上の注意事項、及び製品の使用（製品の設置条件、使用電源条件、温度及び湿度条件）に反した使用により生じた損傷、故障
3) 接続製品の異常や誤動作および障害を誘発する可能性のある製品（仕様が明確でないもの、開発中など）接続した場合の損傷、故障
4) 合理的使用法に反するお取り扱い、及びお客様の維持・管理環境に起因する損傷の場合
5) お客様にて製品を分解された場合
6) 中古品を購入された場合
7) 製造番号(シリアルナンバー)を確認することができない場合

◆ 該当製品の製品保証期間が終了している場合、有償修理について、別途当社の担当者からご連絡させて頂きます。

6.3 修理尉依頼品発送方法について

1) 故障製品の送料はお客様にてご負担ください。

2) 故障の疑いのある製品のみをお送りください。

3) インタフェースが実装された製品は、必ず付属のキャップを付けてご返送ください。キャップが無い場合、粉塵等により故障する場合がございます。

4) お客様にて製品本体や構成品に張り付けられた部材やシールは、修理過程で破棄される場合があります。

5) 修理完了機器は工場出荷時の状態でのお戻しとなります。設定情報の復元、バックアップはお客様の責任において実施してください。

6.4 初期不良保証期間について

ご購入日より3ケ月間（当社にて最終的な故障切り分け後、交換機発送による対応）となります。

6.5 修理について

1) 修理期間は平均して1.5ケ月程度かかります。期間中の代替品や貸出機のご用意は致しておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。

2) 故障内容によっては新品相当品に交換対応となる可能性があります。

3) 交換対応となった場合修理依頼品、または修理交換した部品の所有権は当社に帰属し、ご返却は致しかねます。

4) 修理報告は、故障内容・故障部位の特定と処置内容となります。

5) 本製品に起因する損害や機械の損失については保証致しません。

6) 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

6.6 修理依頼品の保管について

修理依頼品、交換品、または未修理品（修理不可、または修理キャンセル）の返却についてお客様にお知らせをしているにもかかわらず、お客様にて該当製品をお受け取り頂けない場合は、修理受付日から起算して6ケ月の保管期間の超過をもって、お客様が当該対象機器の所有権を放棄したものとみなし、当社が該当製品を当社所定の方法に関し、お客様は承諾するものとします。

この場合、お客様は当該処分に要する費用及び保管に要する費用を負担するものとします。

また、有償修理の場合は、別途修理費用または診断費用を請求できるものとします。

6.7 修理保証について

同一不具合事象が再発し、再修理を要すると当社が認めた場合は、修理完了日から3ケ月以内、または保証期間満了日のいずれか長い期間に限り無償にて再修理をおこないます。

6.8 免責事項について

製品の故障もしくは使用によって生じた製品または接続製品内に保存されたデータの破損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。

保証期間を問わず、当社製品の故障・誤作動・不具合に起因するお客様での機械損失・二次災害・当社製品以外への損傷、及びお客様尉夜交換作業・調整作業に対する補償については、補償範囲外とさせて頂きます。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社
カスタマサポート
TEL 0570-060030
MAIL support@hytec.co.jp
受付時間 9:00～17:00 （土・日・祝日、年末年始を除く）

Copyright © 2021
HYTEC INTER Co., Ltd.